



JAあそだより

平成21年 6月



清流の森(南小国町)

■今号16ページ主な内容

- JA阿蘇青壮年部・女性部各総会
- 各生産部会「生育・出荷状況」
- 「まるごとあそっ子スクール」開校
- 地域住民や子供たちと農業体験交流 ほか

●/人 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088



**新部長に倉岡誠喜さんを選出
各議案、原案通り承認**



新役員に選出された盟友

平成20年度通常総会が4月15日、サンクラウン大阿蘇で開かれ、JA阿蘇青年組織綱領唱和後、阿南光政部長の挨拶や来賓祝辞などが行われ、議事に入りました。

議事では第1号議案「平成20年度事業報告並びに収支決算書承認について」「監査報告」、第2号議案「平成21年度事業計画並びに収支予算書(案)の承認について」、第3号議案「平成21年度会費並びに徴収方法について」、第4号議案「JA阿蘇青壮年部規約一部改正(案)について」、第5号議案「役員改選について」が審議され、各議案とも原案通り承認されました。

新役員は次の方々です。

部長	倉岡 誠喜(二の宮)
副部長	下城 博志(小国郷)
副部長	三森 伸治(高森)
委員	小林 智征(久木野)
委員	渡辺 和徳(長陽)
委員	高宮 吉幸(白水)
委員	高藤 秀一(阿蘇)
組織代表理事	今村 孝典(久木野)
監事	洞田 賢真也(阿蘇)
監事	渡辺 司(白水)

「地域の景観を守ろう！」

**青壮年部一の宮支部
環境美化活動を行う**



日没まで作業する盟友

JA阿蘇青壮年部一の宮支部は4月23日、盟友個々が同じ共同作業をすることによる連帯感、親睦を深めるためなどの目的でJA阿蘇本所や一の宮中央支所・斎場周辺の除草作業及びゴミ拾いを行いました。

当日は水稲の準備の忙しい中、盟友約30人が参加。午後6時から日没までの1時間30分を「第1回地域の景観を守ろう、環境美化運動」として、清掃活動を行いました。開催にあたり、倉岡誠喜支部長が「第1回目から多くの盟友が集まってもいいありがたうございます。地域のために汗を流しましょう」と挨拶しました。作業終了後は、第1回目ということもあり懇親会を開催。

懇親会では若い盟友からベテランの盟友にいろいろな相談などがあり、20歳代の盟友は「このような活動を通じ、自分の農業経営を相談しながら今後に活かしたい」と感想を語っていました。



景観を守るため参加した盟友たち

尚、同支部では地域の方からの要望も受け付けています。問い合わせ先は一の宮支部事務局の井手友和さん。電話0967-227-3942(一の宮選果場)まで。

阿蘇グリーン・クリーン作戦 2tトラック3台分のゴミ収集



水土里ネット阿蘇(阿蘇土地改良区)は4月26日、第1回目の「阿蘇グリーン・クリーン作戦」を阿蘇市一帯で行い、関係33団体から350人が参加しました。これは農業用水の安定的な供給保全のために、阿蘇自然環境推進協議会(区長会、JA・JA女性部、建設業者等)が設立されたのを機に、水源地域におけるかん養機能や良好な森林水環境の形成を図る目的で行われました。

当日は赤水から一の宮三野までの広域農道(通称8m道路)一帯で参加者が6班に分かれ、空き缶やペットボトル、タイヤ等2tトラック3台分のゴミを拾い集めました。

「子供たちが安心して暮らす生活環境を創ろう」
 新部長に小国郷の杉本いよさん



平成21・22年度新役員の方々

管内JA女性部相互の連絡提携により、JA女性部の育成強化を図り、農家経済の安定と生活の向上を資することを目的とする、平成20年度JA阿蘇女性部通常総会が4月24日、阿蘇市のホテルで開かれました。

開会、JA女性組織綱領唱和後、菅美佐子部長が昨秋のアメリカ発金融危機による景気低迷、さらに食への安全性と信頼を大きく揺るがすこととなった一連の産地偽装事件や相次ぐ食品表示偽装問題などに触れ、「より安全な農畜産物を求める声が一段と大きくなっている。今こそ、未来を担う子供たちが安心して生活していける環境

を創っていくことがJA女性部に求められる役割」とあいさつしました。

続いて米賣のJA阿蘇中尾雄二組合長、青壮年部の倉岡誠喜部長らが祝辞を述べました。

議事では、議長に後藤喜美子さんを選任。第1号議案「平成20年度事業報告並びに収支決算書の承認について」「監査報告」、第2号議案「平成21年度事業計画並びに収支予算(案)の承認について」、第3号議案「平成21年度部費の負担並びに収納(案)について」、第4号議案「役員改選(案)について」などについて、執行部より提案理由や報告が述べられ、各議案とも原案通り承認されました。

閉会後はJA熊本厚生連保健師の樋口公美さんが「いつまでも輝くために」と題して講演を行いました。

4月1日現在、JA阿蘇女性部は9支部、会員総数は1044人となっています。尚、平成21・22年度新役員は次の方々です

部長 杉本いよ(小国郷)、副部長 宮崎ヒサ子(長陽)、緒方洋子(阿蘇町)、委員 吉川由美(西原)、後藤喜美子(白水)、和田喜美子(宮)、村上テイ子(蘇陽)、監事 住吉りえ子(高森)、橋原清子(久木野)、顧問 菅美佐子(二の宮)

「美味しい野菜は作るばい」
 JA阿蘇女性部蘇陽支部



支部の評議員ら20人が参加

JA阿蘇女性部蘇陽支部では4月4日、山都町総合庁舎蘇陽支所において家庭菜園の土作り、栽培管理についての勉強会を行い、支部の評議員約20人が参加しました。

今回はJAで毎年開催される家庭菜園コンクールに向けての勉強会ということで、JA南部地区担当の後藤真智指導員が土作りや作付計画などから話を始め、より効果的に追肥を行うポイントや少しの工夫で菜園に害虫を寄せ付けない方法などを説明しました。

担当職員は「家の光にも毎月菜園の記事が掲載されているのでそれらも活用し、今まで以上のものを作ってほしい」とエールを送っていました。

一の宮会場を皮切りに
 農機具展示会を開催

JA阿蘇購買部は2009年度農機具の供給高を6億円と計画しています。そのため各農機具センターでは展示会を計画しており、その最初の展示会が一の宮農機センターで5月29・30日の2日間、開かれました。

会場には刈払機やチェーンソーといった小物農機具を中心に取り揃えられ、併せてトラクター等の大型農機具も展示されました。

特に刈払機については台数限定の特別価格を設定。チップソー等の消耗部品についても豊富に取り揃えられ、当日は来場者全員に粗品を進呈し、多くの来場者で賑わいました。



トラクターなど大型農機具も展示された一の宮会場

4月上旬からピーマン共育苗
蘇陽ピーマン部会

仮植作業をする部会員

J A阿蘇蘇陽ピーマン部会(二宮博継部会長)では、4月3日から蘇陽育苗施設で2009年度共育苗が始まり、購入セル苗を仮植する作業が行われました。

今年度の作付品種は「かがやき」と「さらら」の2品種で、当日は約4万本の鉢上げが部会員の手によって行われました。同部会は生産者がエコファーマーを取得しており、作付前の土壌分析により必要な施肥量を算出し、無駄のない低コスト栽培を実践しています。また、販売面においても昨年度より隣接する高森地区と二元化販売を実施、09年度の作付面積は昨年度と同じ約5haとなっています。

阿蘇南部地区では4月下旬
ピーマン定植始まる定植作業後
誘引をする部会員

J A阿蘇南部地区では4月23日から09年度産夏秋ピーマンの定植が始まり、施設栽培では5月上旬、露地栽培では5月中旬をピークに定植作業が行われました。09年度の作付品種は施設では「京ゆたか」、露地では「かがやき」と「さらら」の3品種。一部で耐病性品種である「京ひかり」を作付し、生育状況及び収量性を見ながら次年度は品種選択が行われます。今年度は天候にも恵まれたことで苗の出来は例年以上で、今後の生育に期待がかかっています。

指導担当者は「定植後の病害虫発生が昨年も問題となったので、生育初期の栽培管理を見直す」とが当面の課題と話しています。生産部会では作付前の土壌分析により必要な施肥量を算出し、無駄のない低コスト栽培を実践し、販売面においても08年度より隣接する蘇陽地区と二元化販売を実施、09年度の作付面積も約15haとなっています。

高原夏秋トマト4月下旬定植
今年、販売高8億円を見込む
中部トマト部会

J A阿蘇中部トマト部会員圃場で4月20日から、09年度産夏秋トマトの定植が始まりました。今年度は育苗前半の低温により生育はやや遅れ気味で心配されましたが、後半は天候に恵まれ良質な苗が出来上がり定植も順調に進みました。

同部会の作付け品種は、すべて桃太郎系で面積35ha、部会員は150人で販売高8億円を見込んでいます。指導員の平野職員は「長期間の作業だが肥培管理を十分に指導し、10a当たりの収量を10t以上生産したい」と話していました。出荷開始は6月上旬からで、出荷先は主に九州地方市場を重点に行われる予定です。



定植を行う部会員

高原夏秋キュウリ定植
中部キュウリ部会

夏秋キュウリ定植をする部会員

J A阿蘇中部キュウリ部会員圃場で4月21日から、09年度産夏秋キュウリの定植が始まりました。同部会の作付品種は、ブルーム、ブルームレスの2種類で、4月末から5月中旬に定植のピークを迎えました。

同部会では全体の95%がJ A熊本経済連のグリーンセンター熊本へ定植苗を発注し、健全な苗が使用されています。それは個々の農家で播種、育苗するより購入苗の方が、労働力やコスト面でのメリットがあるからです。指導員の井手友和職員は「長期間の作業だが、夏場の高温対策を十分に指導し、10a当りの収量を14t以上生産したい」と語っていました。出荷は6月上旬より始まり、出荷先は主に九州地方市場を重点に行われます。

「阿蘇メロン」のリレー販売始まる

今年も場外級の質・味を

届けます！

白水メロン部会



J A阿蘇白水メロン部会は5月1日、例年、数量と期間限定で出荷している「場外ホームランメロン」の生育状況確認を生産者のハウスで行いました。同地区のメロン栽培は約10年前から同部会が他産地より有利販売するために取り組んできており、年々、固定客も増えています。

この「場外ホームランメロン」は通常1株に6個着果するのを3個に制限し、大玉で甘い高品質のメロンとして栽培・販売しています。また、収穫間際に土壌水分をスムーズに切らすために、雨の多い梅雨時期を避けています。

J A販売担当職員は「今年は定植後、曇天や低温の日があり生育がやや遅れたが、現在は例年並の生育をしております今年も多くは消費者に喜んでもらえる」と今後の生育に期待していました。出荷時にはメロンと一緒生産者ごとの写真や紹介文も添えて消費者へ届けます。

「南部地区の阿蘇メロン」5月中旬より出荷

J A阿蘇南部地区では春の日差しを受け、「阿蘇メロン」がすくすくと生育しました。同地区は例年、管内の平坦部より出荷が始まり、山間部へとリレー販売をすることで消費地での評価を高めています。

5月14日、西原地区でJ A職員が現在の玉肥大や出荷時期の見通しを確認しました。当日、生産者の久野弦さんのハウスでは、ホームランメロンの摘果作業に追われており、2月下旬に定植が行われ、4月3日より交配作業が始まり、玉肥大が進んで「病害虫被害もなく、順調に生育している」と話していました。

09年度の西原地区メロン栽培面積は、昨年の単価安などの影響もあり76.9a(前年比81.8%)に減少し、生産者数は前年と同じ3人となっています。



生育状況を確認するJA職員

阿蘇メロンいざ出陣 低地から高地へリレー販売



メロンの品質チェックを行う担当職員

J A阿蘇南部地区の西原集荷所で春メロンの出荷が始まりました。同地区の春メロン作付面積は「ホームラン」3.7ha(前年比105%)、「肥後グリーン」1.4ha(同100%)、「レン」2.5ha(同109%)。

収穫期間の切れ間が出ないよう同地区の高低差を利用し、低地から山間部へかけてリレー販売を行っています。出荷は5月中旬より始まっており、第一陣の西原地区では「ホームラン」が5月末まで、「肥後グリーン」が6月中旬までの予定です。

J A担当職員は「期待以上の大玉で美味しく、安全安心のメロンを消費者へ届けることが出来る」と自信を持っていました。また同管内メロン部会は、ポジティブリスト制度を遵守し、生産者が特定できるように生産者番号入りのシールを1玉ずつ貼って出荷しています。

夏秋ミニトマト定植順調に 中部ミニトマト部会

J A阿蘇中部ミニトマト部会の白石忠幸部会長の圃場では5月上旬、09年産ミニトマトの定植がピークを迎えました。今年はやや遅れ気味で心配されましたが、後半は天候に恵まれ、良質な苗が出来上がり定植も順調に行われました。今年からの品種は葉カビなどの耐病性があり、梅雨時期の病害は心配ないとのこと。

指導員の笹原祥樹職員は「長期間の作型だが、夏場の高温対策を十分に指導し、10a当たりの収量を5t(kgあたり500円)、250万円(前年対比105%)以上生産したい」と期待しています。出荷は6月上旬より始まり、出荷先は主に九州地方を重点に予定されています。



定植作業をする白石部会長

水耕カラーの産地作り目指す

南阿蘇・渡辺秀樹さん



阿蘇南部地域の特性を生かし、市場に高品質な水耕カラーを提供するための産地作りがスタートしました。生産者の渡辺秀樹さん(35)は南阿蘇村出身のUターン就農者で、地元の自然を生かした農業が出来ないかと考え、清らかな湧水が豊富なことに目をつけて、幼少の頃より好きだった花卉の栽培を決めました。

数多くある花卉の品目の中でカラーを選択した理由は、カラーの美しさに魅力を感じたことや豊富な湧水が無駄なく使用できることでした。現在、ウエチングマーチ種を1a(100株)程度植え付けており、今後は株分けにより作付面積を拡大していく予定です。

渡辺さんは「今後の農業は高く農産物を販売するだけではなく、いかにコストを抑え利益を得るかということに重点を置き生産、販売していきたい」と意気込みを語

っています。

販売に関してはJAと市場と連携し、情報重視の販売戦略を立て、市場に高品質及び安定供給を行い、最終的には信頼できる水耕カラーの産地作りを目指しています。

「ヒゴムラサキ」出番！
今年も大都市圏へ売り込み継続



JA阿蘇南部ナス部会(吉良山友二部会長)では、5月中旬から期待のナス「ヒゴムラサキ」の出荷を始めました。同部会では、昨年より「ヒゴムラサキブランド化研究会」を発足させ、東京・大阪・福岡方面などの都市圏に向けての消費宣伝を実施しています。

現在、収穫されているものは3月中旬に定植されたもので、4月末の低温の影響があり、昨年より5日程度出荷開始が遅れたものの肥大と品質は例年以上の出来となつています。

ヒゴムラサキは6年前から高森地区の特産品として導入され、果肉がとてやわらかく、果物のようにそのまま食べることが出来て、調理しても他の野菜類に紫色が移らず仕上がりが、調理しやすいナスとして年々、市場や消費地の評価は高くなっています。

今年度の作付面積は3.3ha(前年比94.2%)、生産者21人(同87.5%)となつています。

JA担当者は「昨年は、ブランド化研究会の計画に沿って消費宣伝会を都市圏で行ったことで、消費地への浸透は少なくとも出来た」と、今年は販売の飛躍に期待しています。今年の出荷は12月末まで主力の県内を含め、東京・大阪・福岡などの都市圏に向けて行われます。

夏秋ミニトマト生育良好
6月中旬より出荷始まる
白水ミニトマト部会

県内有数の夏秋ミニトマト産地である白水ミニトマト部会(下田広義部会長)では、4月上旬に定植した分が出荷間近となっており、生産者は誘引作業に追われています。

同部会の後藤安弘さんは「今年度は定植後に寒の戻りがあり、生育の遅れを心配したが、その後好天に恵まれたことで昨年より5日程

度早く収穫ができそう」と話しています。

同部会は過去に県野菜振興協会より団体功労賞を受賞しており、長年にわたって高品質の商品を出荷、市場よりも高い評価を得ています。

本年度は栽培者23人(前年比95%)、栽培面積5.5ha(同100%)、予定出荷数量220t(同100%)を目標に、11月まで県内を主力に山口・鹿児島へ出荷を予定しています。品種構成はT-1006(13%)、キャロルクイーン(83%)、千果(4%)となつています。



誘引作業を行う後藤さん(南阿蘇村)



**「JA阿蘇ピーマン部会」設立
ロット数の確保で有利販売へ
初代部長には宇藤虎夫さん**



武田健氏による基調講演会(山都町)

J A阿蘇南部地区では5月26日、蘇陽ピーマン部会(二宮博継部会長)と高森ピーマン部会(宇藤虎夫部会長)の部会統合が行われ、生産者：J A関係者ら約50人が参加し設立総会が開かれました。

設立総会では部会規約など3議案が承認、可決されました。役員選任については各地区より現行役員が互選され、初代部長に宇藤虎夫さんが選ばれました。

2地区が統合されたことにより、同部会の栽培面積は約8ha、生産者は55人となりました。部会では作付前の土壌分析により必要な施肥量を算出し、無駄のない低コスト栽培を実践しています。J A

担当者は「ロット数の確保も出来るので、今後は市場集約も考えて有利販売を行っていききたい」と抱負を力強く語っています。

設立総会後はJ Aの営農コンサル事業を指導している武田健農経塾塾長による「土作りと栽培管理」と題した基調講演会が行われました。

**阿蘇高原春メロン出荷始まる
J A阿蘇中部メロン部会**



阿蘇町野菜選果場では特産のホームランメロンの出荷が5月26日から始まりました。2009年度は3月上旬から定植が始まり天候にも恵まれ、順調に生育しました。

今年はや暖の差があつたため肥培管理に難しい時期がありました。が、食味は糖度15度以上と申し分なく、阿蘇中部メロン部会では3品種(ホームランメロン・アンデスメロン・肥後グリーンメロン)の栽培に取り組んでおり、5月下旬か

ら約10日間隔で3品種の出荷が6月中旬頃まで行われます。

生育良好のメロンを見て選果場の石田澄恵さんは「今年のホームランメロンは身が詰まって美味しそう」とPRしていました。販路は主に近畿地方を中心に行われ、選果場販売もあるとのこと。問い合わせ先J A阿蘇野菜選果場(電)0967(34)0731(写真)身が詰まって美味抜群のホームランメロン)

**安定価格確保を目指して
販売目標を8億7000万円に
中部トマト部会取引会議**



開会に先立ち、あいさつをする森正義部会長

議を阿蘇市で開き、部会役員や行政・市場・J A関係者ら約50人が参加しました。

森正義部会長は「新鮮で安全なトマトを安定供給し、消費地との相互理解と信頼関係による販売体制を確立し、生産・流通コストの上昇に見合う販売価格の確保を目指します」とあいさつ。

その後、J A阿蘇指導員の平野伸太郎職員より生産状況の説明があり、栽培面積34.4ha、前年対比101%、品種構成、作柄概況などを報告しました。

また、会議では本年産の基本方針や出荷計画、販売戦略など5項目を協議。生産販売体制を強化し、市場と連携を図り、有利販売を目指すことを確認しました。

部会では今年販売目標を8億7千万円、72万ケース(1ケース4kg)1ケース1200円を目指します。

表紙「清流の舞(南小国町)」の説明

南小国町東部に位置する「清流の舞」は、800〜1000mの丘陵地にあり、約80haの敷地は8つのゾーンに分かれ森林浴や自然観察が楽しめます。

前方にそびえる久住連山からの湧水はせせらぎとなり、筑後川の源流ともなっています。

J A阿蘇中部トマト部会は5月27日、2009年産トマト取引会

泥だらけの笑顔で
「楽しかった」

小学生と農業体験交流
JA阿蘇青壮年部が
田植え指導



阿蘇市立坂梨小学校5年生が5月20日、JA阿蘇青壮年部一の宮支部の宮崎英雄さんの水田で田植え体験を行いました。田植えには盟友10人と子供たち20人が参加し「阿蘇コシヒカリ」を植えました。米作り体験は9年前から同支部と小学校が一緒に食育・総合学習の一環として行っています。

倉岡誠喜一の宮支部長は田植えを始めるにあたり「朝ごはんは食べて来たね?朝ごはん食べてない子供は田植えできないよ。とてもしつかけんね」など、まず朝ごはんを食べるの大切さを伝えました。

田植えでは、児童は盟友から植

え方を教わり、ぬかるむ土に苦勞しながらも10日を1時間30分ほど植えました。子供たちは疲れた様子でしたが「楽しかった」と泥だらけの笑顔で話し、稲刈り後のご飯を楽しみにしていました。

今後の水管理は青壮年部員が行い、2回ほどの草取りを子供たちが水田に入り行う予定です。

田植えに子供も親も大歓声
阿蘇であぐりんツアー開催



JA阿蘇で5月23日、JA熊本中央会主催の「あぐりんツアー」が開かれ、熊本市内の児童と家族、小学校教諭ら70人が参加しました。これは食農教育事業の一環として毎年行われているもので、阿蘇市では稲作農業体験が行われました。

中尾雄二組合長があいさつで「朝ご飯を食べてきましたか?」との質問に、児童らは元気に手を上げて「はい」答えていました。児童ら近くの水田に移動し、JA阿蘇青壮年部倉岡誠喜部長らの指導を受けながら田植えをしました。ほとんどの児童が初めての体験で、泥の感触に歓声をあげながら苗を植え付けていました。昼食はJA阿蘇女性部手作りのおにぎり弁当でお腹を満たして、午後からは近くのイチゴ農場にてイチゴ狩りをしました。



倉岡青壮年部長の
説明を聞く子供たち



歓声をあげて水田に入っていく子供たち

あぐりんツアーは年2回開かれ2回目は10月に稲刈り体験が予定されています。

人形やぬいぐるみに「ありがとう」
人形供養祭を行う



JA阿蘇は5月23日と27日の両日、管内の葬祭場で人形供養祭を開きました。これは、日頃から心を癒してくれ、可愛がっていた人形やぬいぐるみ等、処分したいけれどゴミとしては出せない、「古くなつたから」といつて簡単には捨てられない」といった、人形やぬいぐるみとの別れを「さよなら」ではなく、「ありがとう」の気持ちで込め行うもので、僧侶の読経のもと丁寧に供養されました。また、併せてJA阿蘇場の認知度を高めることも目的の一つとして行われました。

各斎場には、祭壇いっぱいぬいぐるみや人形が持ち込まれ、佐藤博一の宮斎場長は「供養を無料で引き喜んで頂いた。今後も年に1回程度、開催したい」と話していました。

09年度JA阿蘇 「まるごとあそっ子スクール」開校

あそっ子ら、大豆の植付けを体験

2009年度「まるごとあそっ子スクール」が5月30日開校しました。4回目となる今年度は、阿蘇郡市の小学校より38人が入校。開校式では、あそっ子スクール校長の中尾雄二組合長が「この1年間で農業の大切さを学び、たくさん友達を作ってください」とあいさつしました。そして内牧小6年の中島眞子さんがあそっ子を代表し、あいさつをしました。

開校式後、あそっ子らは大豆の植付けを体験。営農指導員や担任役のJA職員の指導を受けながら、横一列に並び、掛け声とともに一斉に目印のついたひもを頼りに、3粒ずつ丁寧に大豆の植付けを行いました。最初は手間取っていたあそっ子たちも作業が進むにつれてリズムよく植付けができ、25aの圃場を1時間ほどで作業が終了しました。あそっ子たちは「秋の収穫が楽しみ。友達もたくさん作りたいです」と笑顔で話していました。「まるごとあそっ子スクール」は12月まで5回開催し、キャンプや親子での収穫祭・料理教室など開催予定です。尚、参加者は随時受付中。途中参加も可能で、詳しくは営農部営農企画課(電)0967(32)2223までどうぞ。



JA阿蘇の新人職員、農家に3日間滞在し研修を行う

JA阿蘇では今年度採用の新人職員を対象に、職員研修の一環として「農家に3日間滞在し、農作業を体験する」という農家体験研修を取り入れました。JA阿蘇では初の取り組みです。今回は7人の新人職員が管内の農家で研修を行いました。その1人、営農部営農企画課の猿渡亜紀奈さんはイチゴ農家の井野耕児さんの施設で研修し、早朝の収穫からパック詰め、手入れなどの一連の作業を体験しました。

猿渡さんは「農業自体が初体験で3日間も滞在するなんて最初はとても不安でしたが、いろいろと親切に指導して頂き、とても貴重な体験となりました」と笑顔で答えていました。井野さんも「朝早くからよく頑張ってくれた。この経験を大切にして立派なJA職員になってほしい」と話していました。(写真上:イチゴのパック詰めをする猿渡さん/写真下:井野耕児さんご家族と記念撮影「ハ〜イ、イチゴ〜」)



09年度の推進目標を確固
JA阿蘇全体職員事業推進大会



JA阿蘇は2009年度事業目標必達に向け5月23日、全体職員事業推進大会を阿蘇市で開き、役員ら550人が参加しました。

中尾雄二組合長は「一人ひとりが自己能力を高め、誇れる職場作りを目指し事業推進に取り組んでほしい」とあいさつしました。

09年度は、①地域農業振興・戦略の実践②自己資本の増強等財務基盤の強化③組合員・利用者に選ばれ信頼されるJA共済の実現④健全経営確立に向けた信用事業実施体制の整備⑤生活事業改革の実践とセルフ給油所建設計画の取り組みを基本方針に事業



550人が参加した事業推進大会

活動を行うことが、事業目標として重点的に推し進められることになりました。

その他に09年度コンプライアンスプログラム、人権同和問題啓発の推進等についても併せて研修が行われました。

「永年、ご苦労様でした」
JA阿蘇職員としての
功績を称え退職者を表彰

JA阿蘇は4月27日、2008年度下半期に定年退職した退職者の表彰式を本所で行いました。

中尾雄二組合長から退職者に感謝状と記念品が贈られ、永くJA職員として貢献したことへの功績を称え、その労をねぎらいました。退職者の皆さんは「少しゆっくりにして組合員としてJAを支えたい」

「ガスのことならJAにおまかせ」
JAは今、安全宣言
LPガス担当者研修会

JA阿蘇では6月より2か月間の「ガス器具特別推進期間」を設定。LPガス未利用組合員の切り替え及び新規顧客の獲得により、利用率の向上と取扱数量の拡大を図る目的でLPガス担当者研修会を5月22日、JA阿蘇一の宮中央支所会議室で開きました。

昨年10月より、全口安心センサー設置が法制化されており、コンロ火災を未然に防ぐ「新基準」に適合した商品の説明や、簡単な料理の講習も併せて行われました。

本年度は「ガスのことならJAにおまかせ」JAは今、安全宣言」など感想を話していました。



長年JA職員として貢献した退職者の皆さん

とのスローガンのもと、研修会の参加者は取扱商品の機能取得や知識の向上を図りました。

09年度はガス器具の供給高計画を177万円としており、ガス器具特別推進期間中は目玉商品も取り揃え、100台の売上げを計画しています。

また、研修の講師陣には経済連、クミアイプロパン、メーカーからのスタッフを迎え、LPガス担当者は新しく追加された器具の機能習得や営業ポイントについてなど質疑を積極的にに行い、実践に備えていました。

JA阿蘇「きものまつり」開催

6月13・14日の両日、阿蘇町中央支所特設会場で「きものまつり」が開かれました。会場には色鮮やかな振り袖や訪問着などが展示され、特別企画として新作ゆかたの展示即売や色無地セットコーナーが設けられ多くの来場者でにぎわいました。

また、会場の一角には「健康相談コーナー」も設けられ、会場を訪れた人が気軽に利用していました。



JAを中心に年間約10万本を見込む

JA阿蘇が県果実連の協力を得て商品化した、「桑の葉7割」と「緑茶3割」をブレンドした500ml入りペットボトル飲料「阿蘇くわの葉茶」の発売が、5月より始まりました。この「阿蘇くわの葉茶」は、「No.1宣言」のもと、「安心・安全」な農畜産物の提供と、組合員・消費者への満足度No.1を目指し、阿蘇の農作物を活かして商品化されたものです。商品名の「阿蘇くわの葉茶」は一般から公募し、商品の一番の特徴である「桑の葉」を使用したお茶であることが、一目で分かるネーミングとデザインとなっています。ラベルデザインは桑の葉の形の中に、阿蘇の山々を背景にお茶を飲む着物姿の女性が描かれています。

桑葉には、桑葉特有の有用成分DNJ(デオキシノジリマイシン)のほか、健康維持に欠かせないカルシウム、カリウム、マグネシウム、鉄、亜鉛などの必須微量元素、食物繊維、フラボノイドなどが含まれており、桑の葉茶は古くから飲用され、成人病の予防効果も確認されている健康茶です。さらにDNJには、糖分解酵素(α -グルコシダーゼ)の働きを阻害する作用があり、腸管での糖分の吸収作用がゆるやかになり、食後の血糖値の上昇が抑えられます。その結果、糖尿病を予防・改善することとなり、食前や食事をしながらの飲用が効果的であります。販売はJA阿蘇各店舗で行っていますが、今後、宅急便での配送等を計画しています。

問い合わせ先=JA阿蘇購買部0967(22)6125



JA阿蘇 産山Aマート店の店舗を賃借契約について

JA阿蘇産山Aマート店につきましては、産山村・店舗経営に興味のある方を広く公募し、経営をお任せしたいと考えております。つきましては、上記の件につきまして興味のある方は、産山支所までご連絡を、お願い致します。

記

1. 賃借物件:産山支所 Aマート店
2. 構造・面積:木造モルタル(一部トタン)・土地343㎡
店舗面積 1F 287㎡/2F 207㎡(要改造)
3. 賃借範囲:食品、飲料、日雑品、給食センター等納品
4. 立地条件:役場、農協に隣接(産山村人口1,706人)
既店舗 村内3店(内山鹿区2店舗)・山鹿地区内食堂無し
県道131号線沿い(大分野津原線への近道により日曜祭日は交通量は若干多い)
5. 契約要件:詳細については、面談にて協議致します。
6. 公募先:JA阿蘇産山支所 (TEL 0967-25-2311)
7. 公募締切日:平成21年6月30日

以上



Dr. やまさん

お知恵拝借



熱中症



予防対策が大切

熱中症は死に至る可能性のある病態ですが、予防法を知っていれば防げることがあります。

これから炎天下での作業が多くなります。熱中症を防ぐためには、暑さをやわらげる工夫等、常識的な判断が基本です。

◆**熱帯夜**で暑いからとこいて、寝る直前はあまり温度を下げないようにしましょう。

◆木陰等で心地よい風が吹いていると涼しいのは、**肌の露出を多くし、皮膚からの熱の放散を多く**しましょう。

◆**炎天下**で活動する場合には薄手の白っぽい衣服を着用し、通気性の良い帽子をかぶりましょう。

◆外出時には輻射を防ぐために黒っぽい日傘等がお役めです。

◆ノーネックタイヤルーフタイを着用する等、身体にぴったりした衣服よりも、少し緩めの衣服内の風の流れをよくし、**熱の放散を**促しましょう。

◆スポーツや作業の前には水分を補給し、大量に発汗する状況での休憩時にはスポーツドリンクや多少塩分の含まれた水分等の補給に努めましょう。

高齢者の注意点

- 寝る前間にも水分
- 枕もとにも水分
- 入浴はゆるめで短時間



熊本県厚生連診療所

所長 中山 茂樹

TEL096 (328) 1250 FAX096 (328) 1258



J A 阿蘇職員異動のお知らせ

氏名	新 任 令	発 令 年 月 日	旧 任 令
野尻英夫	高森中央支所長	平成21年4月25日	高森中央支所長代理(課長待遇)
佐藤昭雄	南部農機車輛センター長	平成21年5月1日	南部農機車輛センター長代理
穴井 肇	金融共済部次長	平成21年6月1日	小国郷中央支所共済課長
後藤一男	久木野中央支所長	平成21年6月1日	白水中央支所融資課長
本田 恭輔	購買部次長兼購買課長(生活担当)	平成21年6月1日	久木野中央支所長
北里 卓也	小国郷中央支所共済課長兼債権対策課長	平成21年6月1日	小国郷中央支所債権対策課長
惣川佳奈子	白水中央支所融資課長	平成21年6月1日	白水中央支所融資課融資係
宮本 勝代	小国郷中央支所共済課長代理(課長待遇)	平成21年6月1日	小国郷中央支所共済課共済係
田上 稔	営農部農産課長代理(中部地区農産担当兼兼水田協議会担当)(課長待遇)	平成21年6月1日	営農部農産課農産係中部地区担当兼兼水田協議会担当(課長待遇)
安岡 新典	営農部農産課南部地区主任兼農産係南部地区担当	平成21年6月1日	営農部農産課農産係南部地区担当
時松 一幸	営農部園芸課小国地区主任兼指導販売係小国地区担当	平成21年6月1日	営農部園芸課指導販売係小国地区担当
佐藤 修一	営農部園芸課中部地区主任兼指導係中部地区担当	平成21年6月1日	営農部園芸課指導係中部地区担当
中村 優二	営農部畜産課南部地区主任兼畜産係南部地区担当	平成21年6月1日	営農部畜産課畜産係南部地区担当
杉田 芳信	営農部畜産事業課小国地区主任兼事業係(肉類加工工場)	平成21年6月1日	営農部畜産事業課事業係(肉類加工工場)
室原 竜己	営農部畜産課小国地区主任兼畜産係小国地区担当	平成21年6月1日	営農部畜産課畜産係小国地区担当
斎藤 博満	営農部園芸課長代理(課長待遇)	平成21年6月1日	営農部園芸課指導係(課長待遇)
荒木 伸一	営農部畜産課中部地区主任兼畜産係中部地区担当(人工授精)	平成21年6月1日	営農部畜産課畜産係中部地区担当(人工授精)
永野 幸雄	営農部農産課小国地区主任兼農産係小国地区担当	平成21年6月1日	営農部農産課農産係小国地区担当
中川 慎一	営農部園芸課南部地区主任兼指導係南部地区担当	平成21年6月1日	営農部園芸課指導係南部地区担当
佐藤 邦博	営農部農産課中部地区主任兼農産係中部地区担当兼兼水田協議会担当	平成21年6月1日	営農部農産課農産係中部地区担当兼兼水田協議会担当
佐藤 紗り	金融共済部保全課保全係	平成21年6月1日	総務部総務人事課総務人事係
佐藤 瑠美	波野支所金融共済係	平成21年6月1日	金融共済部保全課保全係
柚上隆之助	営農部園芸課指導係	平成21年6月1日	一の宮中央支所購買課購買係(一の宮グリーン)

理事会・監事会報告

■平成21年度第1回理事会

日時 平成21年4月28日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

3月末実績報告

1) 役員推薦手続きについて

2) 信用供与限度額について

3) 平成21年度貸付金利率の最高限度及び借入金の最高限度について

4) 平成21年度の余裕金運用について

5) 貸出金について

6) 平成20年度の各部門表彰者について

7) 総合損益5カ年計画について

8) 固定資産減損損失処理及び目的積立金取崩し(案)について

9) 常勤役員体制について

報告事項1 平成20年度決算事務監事監査日程等について

報告事項2 平成20年度全国監査機構期末監査日程について

報告事項3 JAバンク基本方針の変更について

報告事項4 役員報酬審議会報告について

報告事項5 平成21年5月-6月の行事予定について

4. 閉会

■平成21年度第2回理事会

日時 平成21年5月1日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(債権管理委員会)

1) 平成20年度資産査定結果について 貸出附議案件纏にて

2) 平成20年度事業報告及び剰余金処分案について

平成20年度貸借対照表、損益計算書、往記表

及び付属明細書について

3) 平成21年度事業計画及び関連事項について

4) 平成21年度固定資産取得計画について

5) 平成21年度家畜導入計画及び貸付利率について

6) 21年産米の計画生産達成に向けた取り組みについて

7) 第8回通常総代会提出議案について

8) 出資減口について

9) 平成21年度コンプライアンス・プログラムについて

10) 常勤役員体制について

4. 閉会



●平成21年度第3回理事会

日時 平成21年5月30日午後1時30分

場所 一の宮中央支所

1. 開会

2. 組合長挨拶

3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

1) 平成19年度決算期末監事監査報告について

2) 平成19年度最終決算について

3) 平成20年度固定資産取得(追加)について

4) 一の宮ライスセンター改修工事に伴う建設委員の選出について

5) 役員を選任について

6) 役員退任給与金の支給について

7) 出資減口について

8) 貸出金について

9) 業者提携住宅ローンの取扱開始にかかる

優遇金利の取扱いについて(案)

10) JAマイカーローン「輪輸サマーキャンペーン2008」に伴う

金利改定について(案)

11) 農業生産資金(農機具購入)及び農機ローン金利改定について(案)

12) 組織機構の一部改正について(案)

13) 総代会開催に伴う総代に対する招集通知等について

報告事項1 総代会事前説明会の開催について

報告事項2 平成20年度購買事業職員ポイント推進について

報告事項3 JA貯金「夏得キャンペーン2008」実施に伴う

上乗せ金利の取り扱いについて

4. 閉会

●平成21年度第1回監事会

日時 平成21年4月22日

午後2時30分

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

1) 平成20年度決算事務監事監査日程について

2) 平成20年度導入家畜等欄印監事監査回答書について

3) 平成20年度全国監査機構期末監査日程について

4) その他

4. 閉会

●平成21年度第2回監事会

日時 平成21年5月26日

午後1時30分

1. 開会

2. 挨拶

3. 議題

1) 平成20年度決算事務監事監査報告(案)について

2) 平成20年度決算全国監査機構期中監査回答書について

3) その他

4. 閉会

今持つ
なら

頼れる一枚

安全 お得 便利 な

JAカードです。



▲JAカードは、JAがご提供する「JAならでは」のクレジットカードです。

初年度年会費が無料です (ゴールドカードは対象外)

- 一般カードの次年度年会費は、本人会員1,312円(税込)、家族会員420円(税込)。
- ゴールドカードは、初年度より本人会員10,500円(税込)、家族会員無料。

さらに次の①、②、③のいずれかに該当すれば、次年度年会費も無料(ゴールドカードは対象外)。

※ただし、ロードアシスタンスサービス付カードの場合、ロードアシスタンスサービス年会費472円(税込)のみ次年度より別途がかかります。

- ① 年間12万円以上のカードショッピング利用
- ② 電気料金のJAカード支払い(注1)
- ③ 携帯電話料金のJAカード支払い(注2)

(注1) クレジットカード支払いは、口座振替割引52.5円(税込)が適用されませんので、あらかじめご了承ください。なお、北海道電力、東北電力、沖縄電力につきましては口座振替割引を実施しておりません(平成21年1月現在)。

(注2) NTTドコモ、au、ソフトバンク、ウィルコム、イーモバイルが対象となります。

JA-SS、ホクレンSSでJA カードをご利用いただくと

2円/ℓ 割引に

平成22年3月31日ご利用分まで

- ※一部対象とならないSSがあります。詳しくはご利用になるSSにご確認ください。
- ※割引は、ハイオク・レギュラーガソリン・軽油が対象となります。カードご利用代金口座引落しの際に、割引した額による引落としとなります。

ICキャッシュカードとクレジット
カードが1枚になった「JAカード
(一体型)」。車に乗る方におすすめ
の「ロードアシスタンスサービス付
カード」もご用意しております。

農協観光協定施設で
優待割引等が受けられます

多彩なサービスも満載。あらゆるシーンでお役に立ちます。

海外でもしっかりサポート!

海外旅行傷害保険サービス **自動付帯**

海外旅行中の病気やケガはもちろん、カメラ等の携行品が破損した、あるいはホテルのカーペットを汚してしまった場合の損害賠償にも適用される安心サービスです。

カーライフをバックアップ!

ETC PLUS **年会費無料**

ETCカードマークのある有料道路の料金をスムーズにキャッシュレスでご利用いただけます。通行区間、通行時間帯によっては通行料金が割引となりお得です。

※ETC PLUSの発行にはJAカードが必要です。

詳しくはお近くのJA窓口へお尋ねください。

熊本県内
JA

JA貯金

なつ

とく

夏得

金利 上乘せ

キャンペーン 2009

平成21年

期間 **6/1** 月 ~ **8/14** 金

**10万円以上の新規ご契約の方に
定期貯金金利が店頭金利に
年0.05% 上乘せされます!!**

JAカードをご契約されている方、新規にお申しただけの方に
さらに年0.05%上乘せされます(合わせて年0.1%上乘せ)。

※上乘せ金利の適用は、お預け入れ時から初回満期日までの当初預け入れ期間のみとさせていただきます。
※中途解約された場合は、当JA所定の中途解約利率を適用させていただきます。
※JAカードをご契約されている方は、JAカードをご提示ください。



キャンペーン対象商品



あなたの
プランに
合わせて
確実に

スーパー 定期貯金

(預入期間：1年以上)

複利計算で
有利に運用

スーパーJA (据置定期貯金)



裏面もご覧ください

詳しくは店頭またはHPで
ご確認ください。

[JAバンク熊本ホームページ]
<http://kumamoto.jabank.org>

JA阿蘇